

2021年07月30日

会員の皆様、

日本での起業には、日本の法律に関する知識や人脈、困難を乗り越えるための意思の強さなどが求められます。ブラジル零細小企業支援サービス（SEBRAE）は、駐日ブラジル大使館や東京、浜松、名古屋にあるブラジル総領事館の協力を受け、日本での開業に関するオンラインセミナーを開催しました。こうした取り組みを通じて、在日ブラジル人経営者が会社の成長に役立つ情報を入手できる機会が増えています。

在日ブラジル商工会議所でも、日本国内の会社運営に関する相談を受け付けています。

今月号では、こうしたSEBRAEとの連携についてアウデーモ・ガルシア在浜松ブラジル総領事にご寄稿いただきました。

そのほかにもデジタル通貨や、パンデミック以降の世界とブラジルの消費傾向の変化、バイオ製品の動向に関する記事も掲載しましたのでご覧ください。

それではよろしくお願いします。

CCBJ会頭
行徳セルソ

(寄稿)

在日ブラジル領事館とSEBRAE 起業分野で連携

アウデーモ・ガルシア在浜松ブラジル総領事

浜松、名古屋、東京にあるブラジル総領事館とブラジル零細小企業支援サービス（SEBRAE）は、7月17日にポータルサイト「Portal Sebrae no Mundo」を立ち上げ、在日ブラジル人の起業支援を開始した。

筆者は5月末に開催されたSEBRAEとのオンラインミーティングに出席した。このオンラインミーティングには、ネイ・ピテンクール在名古屋ブラジル総領事、駐日ブラジル大使館のガブリエラ・ヘゼンデス参事官、在浜松ブラジル総領事館の在日ブラジル人コミュニティ担当者ヴァネッサ・ハンダ氏も参加した。

この事前ミーティングは、SEBRAEと在日ブラジル総領事館の連携によるブラジル人起業家に対する支援について協議することを目的として開催された。

今年1月に筆者が休暇でブラジリアを訪れた際には、起業分野での連携の可能性について話し合うためSEBRAEを訪問した。そこで在浜松ブラジル総領事館が2018年に在日ブラジル人の起業を促進するため館内に「起業家コーナー」を設置し、現在領事館のホームページで公開されている「在日ブラジル人起業マニュアル」を作成したことなどを伝えた。翌日に電話会談したSEBRAEのカルロス・メレス会長からは、SEBRAEとしても起業分野での連携への協力を確約してもらえた。今年の5月には、SEBRAEから協力の申し出とズームミーティング開催の提案に関する書簡を受け取り、5月20日にオンラインミーティングが実現した。

そのミーティングでは、我々からの要望を受け、ポータルサイト「Portal Sebrae no Mundo」を通じた対外事業を実施する計画が示された。浜松、名古屋、東京の3ヶ所にある在日ブラジル総領事館との協力で展開される取り組みは、今後モデル事業として世界各地のブラジルの在外公館に導入される可能性もある。

ポータルサイト「Portal Sebrae no Mundo」は、7月17日に開催されたウェビナーで正式に発足した。ウェビナーのプログラムは以下の通り。

講演 1 キャリアの選択肢としての起業

SEBRAE NACIONALカスタマーリレーションズ部長 エニオ・ピント氏

講演2 アイデアをビジネスモデルに変換する

講演3 パンデミックの遺産：デジタルビジネスと新たな日常のトレンド

SEBRAE NACIONALイノベーション部長 パウロ・レナト氏

質疑応答 4

SEBRAE NACIONAL公共政策部長 シラス・サンチアゴ氏

- ー デジタルビジネスの課税 (eコマースの課税) について
- ー ブラジルでの決済を含む企業間取引で日本製品の売買をする場合ブラジル国内で事務所を開設する必要はあるか
- ー ブラジル国内での所得税申告義務はあるか
- ー ブラジルで個人事業主としてデジタルビジネスを運営しているが、現在は日本を拠点に活動している。このまま個人事業主としてビジネスを継続させることは可能か。

講演5 日本での会社設立方法

在浜松ブラジル総領事館の在日ブラジル人コミュニティ担当者ヴァネッサ・ハンダ氏

日本で起業したブラジル人紹介動画

動画はこちら：<https://www.youtube.com/watch?v=D527Bxlv6UE>

終了

(経済)

太陽光エネルギー分野のサプライチェーン

ドイツ国際協力公社(GIZ)は、ブラジルの戦略的分野の一つと位置づけられている太陽光エネルギー分野におけるサプライチェーンの労働力に関する調査結果を発表しました。報告書では、太陽光エネルギー分野のサプライチェーンに従事する専門労働者の視点から見た同分野の課題を取り上げています。

詳細はこちら：[https://irp.cdn-website.com/4f8f282e/files/uploaded/CADEI-A_PRODUTIVA%20\(1\).pdf](https://irp.cdn-website.com/4f8f282e/files/uploaded/CADEI-A_PRODUTIVA%20(1).pdf)

デジタル通貨に関するオンラインセミナー

ブラジル中央銀行は、デジタル通貨の発行に向けた土台づくりに取り組んでおり、その一環としてブラジルのデジタル通貨に関する方針についての社会的議論を進めることを目的としたウェビナーを7月から開催します。全7回の予定で、金融サービス分野（銀行やフィンテック）やテクノロジー・インフラ企業の代表者らと交えて毎回異なるテーマについて協議します。

詳細はこちら：<https://www.bcb.gov.br/detalhenoticia/563/noticia>

出所：ブラジル中央銀行

世界の消費者意識調査

PwCは世界の消費者意識調査2021の結果を発表しました。コロナ禍の中、世界の消費者を4つのグループに分類する境界線が明らかになっています。企業にとっては、購買や外出、仕事、ブランドの好みなど、それぞれの消費者グループの特徴を理解しその行動を予測することで将来への備えになります。

詳細はこちら：<https://www.pwc.com.br/pt/estudos/setores-atividade/produtos-consumo-varejo/2021/global-consumer-insights-2021.html>

出所：PwC

バイオ製品市場で注目されるブラジル

農産物生産では、病害虫をバイオ製品を使って駆除する方法が一つの流れとなっています。バイオ製品の需要はブラジルを含め世界中で高まっています。バイオ製品の売上増加率は世界平均が年15%であるのに対し、ブラジルでは28%に上っており、売上高は10億リアルを上回っています (Spark Smarter Decisions調べ)。こうした中、2020年にブラジル農務省に登録されたバイオ製品や微生物防除剤、生化学農薬、成長調整剤などを含む低リスク農薬は95種類に達し、前年同期比では121%増加しました。

動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=n1jXMc1bpBI>

出所 : 農牧食料供給省

次号のニュースレターは9月号となります。